

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人センター治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2009年3月31日	2009年3月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び駐在官事務所ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別 犯罪集計結果:補足文書 1
- C、多発の手口と場所の特定、防止策 :補足文書 2

A、一般的傾向

ホームジャッキングの被害が数件報告されている。これから暖かくなってくるに従って窓などを開け放つ機会も多くなると思うが、特に就寝時には一層の戸締りが必要である。また、現金自動預払機利用時の犯行も報告されている。機械を利用時には十分に注意すること。

[補足文書 1]

- B、地区別 犯罪集計結果

[補足文書 1]

2009年3月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり																	0
空き巣								1			4	3	1		2		11
置き引き																	0
引ったくり																	0
万引き			1														1
強盗	1		3			3		1	1	1			1	1		1	13
窃盗(車・自転車)													1				1
カージャック										1							1
車内盗難																	0
猥褻行為・強姦																	0
いたづら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	3	1	4	1	1	2	2	1	4	6	1	2	2		1	1	32
詐欺(カードなど)			1	1				1	1	1							5
拉致・誘拐																	0
破損・放火								1		5							6
ストーカー																	0
麻薬取引・所持																1	1
飲酒/無免許運転			2		1	1	2				1	1					8
その他		1									1			1			3
合計	4	3	10	2	2	6	5	5	5	14	7	6	5	2	3	3	82

備考欄: リヨン東→Mezrieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C.多発の手口と場所の特定・防止策(新聞による報道記事から)

① ホームジャッキング

今月も就寝中のホームジャッキング事件が報告されている。

- 3月10日午前0時から7時の間に、フランシュビル市の一軒家で住民が就寝中に何者かが家の中に侵入。住民の車やブルゾンが盗まれているのに起床した住民が気付いた。犯人らは門扉をよじ登り台所の窓をこじ開けて侵入したらしい。この家には犬もいたが誰も犯人らが侵入したことに気付かなかった。(プログレ紙3月11日付)
- 3月11日午前1時30分ごろ、サン=ジェニ・ラバル市の一軒家に住民が就寝中何者かが侵入。住民の乗用車2台を奪って逃走した。同日7時45分ごろ、盗まれた車のうち一台が他の車と接触事故を起こしたが、犯人はその場に車を残して逃走した。(プログレ紙3月12日付)
- 3月15日午前4時30分ごろ、タッサン・ラ・ドゥミ・リュヌ市の一軒家に、地下室の天窗をこじ開けて何者かが侵入。住民4名が就寝中であつたが、誰も侵入者に気がつかず犯人らは携帯電話、ノートパソコン、車などを奪って逃走した。(プログレ紙3月17日付)

② 車の売買を口実にカージャッキング

- 3月11日午後、車を売りに出していた男性がにコンタクトをしてきた男との待ち合わせのためにヴェニシュー市へ向かった。現地に着くと待ち伏せしていた二人組の男らが拳銃で男性を脅し、そのまま男性の車で逃走した。(プログレ紙3月11日付)

③ 強盗事件が頻発

相変わらず強盗事件が頻発している。

- 3月2日午後4時10分ごろ、リヨン3区ラファイエット通りのディスカウントストアに武装、覆面をした3人組の男らが侵入。レジの現金約150ユーロを奪ってそのまま逃走した。(プログレ紙3月3日付)
- 3月2日午後6時45分ごろ、ロワール県サン=テティエンヌ市の小型スーパーに覆面をして拳銃を持った男が侵入。店主を脅して現金を奪いそのまま逃走した。事件当時店内には買い物客らがいたが、怪我人は無かった。(プログレ紙3月4日付)
- 3月5日午後4時45分ごろ、リヨン6区のパン屋に二人の若者が侵入。そのうちの一人が店主を拳銃で脅しレジの現金を奪って逃走した。(プログレ紙3月6日付)
- 3月6日午後8時ごろ、リヨン3区のディスカウントスーパーに拳銃を持った二人組の男らが侵入。店じまいをしていた従業員らを脅し、レジの現金を奪って逃走した。(プログレ紙3月7日付)
- 3月9日午後7時30分ごろ、リヨン6区のパン屋にフードをかぶり、拳銃を持った20歳くらいの男が侵入。店員を脅しレジの現金を奪いそのまま逃走した。(プログレ紙3月10日付)
- 3月10日朝、リヨン8区のPMUバーが強盗の被害にあつた。犯人はその後すぐに捕まったが共犯者は逃走中。(プログレ紙3月11日付)
- 3月10日午後7時ごろ、またもやリヨン6区にあるパン屋が強盗の被害にあつた。他の犯行と同様の手口でレジの現金が奪われた。(プログレ紙3月11日付)

④ 暴行事件

- 3月5日午後、リヨン7区で14歳の少年が二人組の少年らに暴行を受け、持っていた携帯電話を奪われた。警察の捜査の結果、15歳と17歳の少年らの犯行であることが判明し補導された。(プログレ紙3月10日付)
- 3月10日深夜、リヨン2区で36歳の男性が二人組の男らに理由も無く殴りかかられた。犯人らはパトロール中の警察に逮捕された。(プログレ紙3月11日付)
- 3月17日深夜、リヨン1区のmetro《ホテル・ドゥ・ビル》駅前で28歳の男性が三人組の男に囲まれ暴行をうけた。犯人らは男性を脅してカルト・ブルーを取り上げ暗証番号を聞きだしてそのまま逃走した。(プログレ紙3月18日付)
- 3月18日午後6時45分ごろ、21歳の男性がリヨン3区パール・デュー駅付近で見知らぬ男に殴りかかられた。犯人は男性の時計を奪って逃走した。(プログレ紙3月19日付)
- 3月23日午前4時30分ごろ、リヨン7区で30歳の女性が刃物をもった男に脅され現金を奪われた(プログレ紙3月25日付)

⑤ 現金自動預払機利用時の犯行

3月21日、リヨン6区で13歳から16歳の少年ら3人が現金自動預払機前で詐欺をはたらいていたとして逮捕された。調べによると少年らは、機械を利用して現金を引き出そうと暗証番号を押している被害者の注意を一人が新聞などを使ってそらし、その間にもう一人が被害者が引き出した現金を奪うというもの。素早い犯行で、被害者の中には引き出しが行われたということに気付かない人さえもいた。21日午後2時30分ごろ、犯人グループは同様の手口で現金を引き出しているところを、たまたまそばにいた通行人が目撃。警察に通報した。調べによると同日犯人らは150ユーロを引き出ししており、他に4人の被害者が確認されている。さらにリヨン2区の現金自動預払機に設置されていた防犯カメラの映像から他にも被害者がいるものとみて捜査が続けられている。(プログレ紙3月23日付)

2.テロなどに関する一般治安情報

今月はテロに関する情報は特に無し。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ=アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン出張駐在官事務所ソース)

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事

③ 消防隊員が侵入者と間違われて射殺される

3月18日、アン県ブルグ・アン・ブレス近郊の住宅街で防犯アラームが作動したために様子を見に出動した32歳の消防隊員に対して住民が誤って発砲し、消防隊員が死亡するという事件が起きた。発砲したのは87歳の一人暮らしの男性で、聴力に問題があり地域一帯に鳴り響いていた防犯アラームが聞こえず、様子を見に男性宅に入った憲兵隊と消防隊員を強盗の犯人を勘違いして、消防隊員が男性の部屋に入ったところを至近距離から発砲した。(プログレ紙3月19日付)

④ スナイパー騒動

3月20日午前11時15分ごろ、リヨン3区の幼稚園正面付近で10人ほどが銃弾のようなものを受けて軽傷を負った。幸いにも傷は浅く、被害者らは病院で簡単な救急手当を受けるにとどまった。被害者らは痛みを感じる直前に何かが弾けるような音がしたと証言していたために警察で調べを続けた。場所が幼稚園付近であることから現場では一時パニック状態に。警察は犯行場所に面する建物を詳しく調査。その結果17歳の少年と2人の高校生らの犯行とわかった。(プログレ紙3月21日付)

⑥ ヴェニシュの病院ようやく再オープン

3ヶ月ほど前にオープンしたものの、2月25日以降院内の配水設備からバクテリアが発見されたために閉鎖されていたヴェニシュ市とフェザン市境界にあるリヨン南クリニックが3月25日によりやく再オープンした。当初は数日間の閉鎖が予定されていたが、バクテリア壊滅は想像以上に長引いた。(プログレ紙3月25日付)

⑥ 全国公務員ストライキ

3月19日、全国的な公務員ストライキが実施された。ローヌ=アルプ地方でもデモ行進があり、公共交通機関のダイヤが乱れるなどした。(プログレ紙3月19日付)

⑦ La Foire de Lyon (リヨン国際見本市)開催

第91回リヨン国際見本市がEUREXPOにて3月27日から4月6日まで開催される。

5.その他の情報

① 工事現場での盗難が社会的問題に

ローヌ県で工事現場での機材盗難が大きな問題となっている。ローヌ県では一日約8万2千ユーロ相当の機材が工事現場から姿を消している。銅のケーブルやパンキの缶といった小さいものから、数トンもする大型機材までが盗難の被害にあっており、警察や憲兵隊では大掛かりな犯罪組織が絡んでいると見て調査している。(プログレ紙3月16日付)

② **アルコールテスト実施**

3月15日早朝4時から6時の間にローヌ県のナイトクラブ近く二箇所においてアルコールテストが実施された。270人のドライバーがコントロールされそのうち18人が酒気帯び運転で検挙された。検挙されたのは主に免許を取って間もないテスト期間免許証所持の若者が多く、またカルトグリーズ(車両登録証)不携帯も多くみられた。(プログレ紙3月16日付)

③ **ブロン市の軽犯罪率増加**

2007年度に大幅な減少(前年比-16%)を記録したブロン市の軽犯罪率が2008年度に増加した。ただし2006年の記録と比較すれば(3488件)減少している数字である(2008年度3223件)。車両盗難および暴力を伴う窃盗事件への未成年の関与が目立っている。(プログレ紙3月5日付)

④ **医師に対する暴力行為減少の傾向**

フランス全国医師団体によると、2007年に837件の暴力事件が記録されて以降、フランス全土における医師に対する暴力行為は減少傾向にある。2008年度は2003年以降最も少ない535件の暴力行為が報告されている。ローヌ県においては2007年度の13件に対して2008年度は9件の被害となっている。眼科医師、精神科医の被害が最も多く、続いて産婦人科医師、皮膚科医師およびレントゲン技師の順となっている。(プログレ紙3月276日付)